

ふるさとの歴史を巡る

地域の史跡などを巡り歴史を学ぶ庄内小学校の史跡学習会が5月22日、庄内地区で行われました。庄内地区まちづくり協議会が、子どもらに地域に伝わる歴史やふるさとの逸話などを伝え、その素晴らしさを再認識してもらおうと学習会に同行。同協議会会員らが、地域のお寺や神社にまつわる歴史などを説明しながら、町内を一緒に散策しました。長谷そらさん（5年）は「史跡を巡って、昔の人の生活風景やまちの歴史が分かった。学習会で聞いたことを、家族にも教えたい」と、ふるさとの歴史に興味を抱いていました。



庄内小学校史跡学習会

みんなの笑顔誘う新商品

都城農業高校ライフデザイン科の生徒たちが企画・開発したぼんちプリンの販売開始式が5月22日、市内の菓子店「まーる茶房（志比田町）」で行われました。生徒らの農産物加工技術や経営的な視点を培う目的で、地元産のサツマイモを使った新しい加工品として考案した同商品。加工業者などに協力をもらいながら、試行錯誤を重ね完成しました。木下成美さん（3年）は「子どもからお年寄りまで食べやすいように、舌触りの滑らかさと食感にこだわりました。たくさんの方に食べてほしいです」と自慢の逸品の出来栄に満足していました。



ぼんちプリン商品販売開始

おなかも満ちた地域交流

南九州大学の学生と地域住民との交流を深めるイベントが5月23日、同大学都城キャンパス周辺で行われました。地域応援団「かたらん花」の呼び掛けに約40人が参加。学生らは地域のひとと一緒に大学周辺のごみ拾いに汗を流した後、手づくりのがねやみそ汁などを食べながら親睦を深めていました。



ジバセンミニマルシェ

童心に帰って汗流す

ジバセンミニマルシェが5月24日、都城圏域地場産業振興センターで開催されました。パンや地域の食材を使ったおやつなどが販売され、多くの家族連れらが来場。また、パン食い競争やあめ食い競争など、昔懐かしい競技の運動会も開催され、参加者らは童心に帰って楽しんでいました。



おはよう目覚まし朝ごはん



身近な水環境に関する学習会

恵まれた水資源を実感

子どもたちにきれいな水を守る意識を持つてもらおうと5月14日、横市川で水環境学習会が行われました。明和小学校の6年生ら68人が参加。児童らは、水のおいしさや透明度を確認したり、川に入ってトビケラなどの水生生物の生息状況を観察したりして、水資源の大切さについて学びを深めていました。